

2018年3月期 第3四半期 決算説明動画 説明概要

皆様こんにちは。代表取締役の中山晴喜でございます。

2018年3月期 第3四半期の決算につきましてWEB配信によりご説明させていただきます。

所要時間は20分程度でございますので、最後までよろしくお願い申し上げます。

説明に先立ちまして、本日の第3四半期決算と合わせて発表させていただきましたとおり、通期業績予想につきまして、当初の予想を下回る見通しとなりましたことをまずをもってお詫び申し上げます。

なお、詳細な要因につきましては、後程ご説明させていただきます。

資料P.2_目次

目次	MARVELOUS!
◆ 2018年3月期 第3Q決算(累計)概要	
◆ セグメント別の状況	
◆ 通期業績予想	
Copyright (c) 2018 Marvelous Inc. All rights reserved.	2

それでは、こちらが、本日も説明させていただく資料の内容です。

はじめに、第3四半期の決算概要について、次に、セグメント別の状況と通期業績予想について、ご説明させていただきます。

それではまず、第3四半期の決算概要についてご説明させていただきます。

資料_P.4_業績ハイライト

業績ハイライト（損益計算書）						
◆ コンシューマ事業、音楽映像事業が好調に推移したものの、オンライン事業の低迷により、前年同期比で減収減益						
(単位：百万円)						
	2017年3月期 第3Q累計		2018年3月期 第3Q累計		前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	(額)	(率)
売上高	21,636	-	17,390	-	▲ 4,246	80.4%
売上原価	9,578	-	7,689	-	▲ 1,888	80.3%
販管費	8,236	-	6,738	-	▲ 1,498	81.8%
うち広告宣伝費	1,650	-	1,395	-	▲ 254	84.6%
営業利益	3,821	17.7%	2,962	17.0%	▲ 859	77.5%
営業外損益	95	-	27	-	▲ 67	29.1%
経常利益	3,917	18.1%	2,990	17.2%	▲ 926	76.3%
特別損益	22	-	25	-	3	114.4%
法人税等	1,119	-	990	-	▲ 128	88.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,820	13.0%	2,025	11.6%	▲ 794	71.8%

Copyright (c) 2018 Marvelous Inc. All rights reserved.

4

まずは、業績ハイライトです。

売上高は、前年同期比 80.4%の 173 億 9,000 万円、営業利益は、同 77.5%の 29 億 6,200 万円となりました。

コンシューマ事業、音楽映像事業が好調に推移したものの、オンライン事業の低迷により、前年同期比で減収減益となりました。

資料_P.5_セグメント別概況

セグメント別概況		(単位：百万円)				POINT
		2017年3月期 第3Q累計 実績	2018年3月期 第3Q累計 実績	前年同期比		
				(額)	(率)	
売上高	● オンライン事業	11,455	7,298	▲ 4,157	63.7%	◆ オンライン事業
	● コンシューマ事業	6,498	5,839	▲ 658	89.9%	・ 主カタイトルの売上減 ・ 新作タイトルの貢献の遅れ
	● 音楽映像事業	3,709	4,280	571	115.4%	◆ コンシューマ事業
	合計	21,636	17,390	▲ 4,246	80.4%	・ 売上は前期ヒット作からの反動減 ・ 主カシリーズタイトル各種好調 ・ アミューズメント定番シリーズ、新規ビジネス好調
セグメント利益	● オンライン事業	2,489	902	▲ 1,586	36.3%	◆ 音楽映像事業
	● コンシューマ事業	1,197	1,608	411	134.4%	・ ステージ公演二大ヒット ・ シリーズ盛況 ・ 二次利用収入好調
	● 音楽映像事業	990	1,409	419	142.3%	
	合計	4,677	3,921	▲ 756	83.8%	
調整額・消却額等		▲ 855	▲ 958	▲ 103	112.1%	
営業利益 合計		3,821	2,962	▲ 859	77.5%	

Copyright (c) 2018 Marvelous Inc. All rights reserved.

5

続いてこちらが、セグメント別の実績です。

オンライン事業は、売上高が前年同期比 63.7%の 72 億 9,800 万円、セグメント利益は、同 36.3%の 9 億 200 万円となりました。

主カタイトルの売上が減少したことに加えて、新作タイトルがリリース遅延等により十分な貢献ができず減収減益となりました。

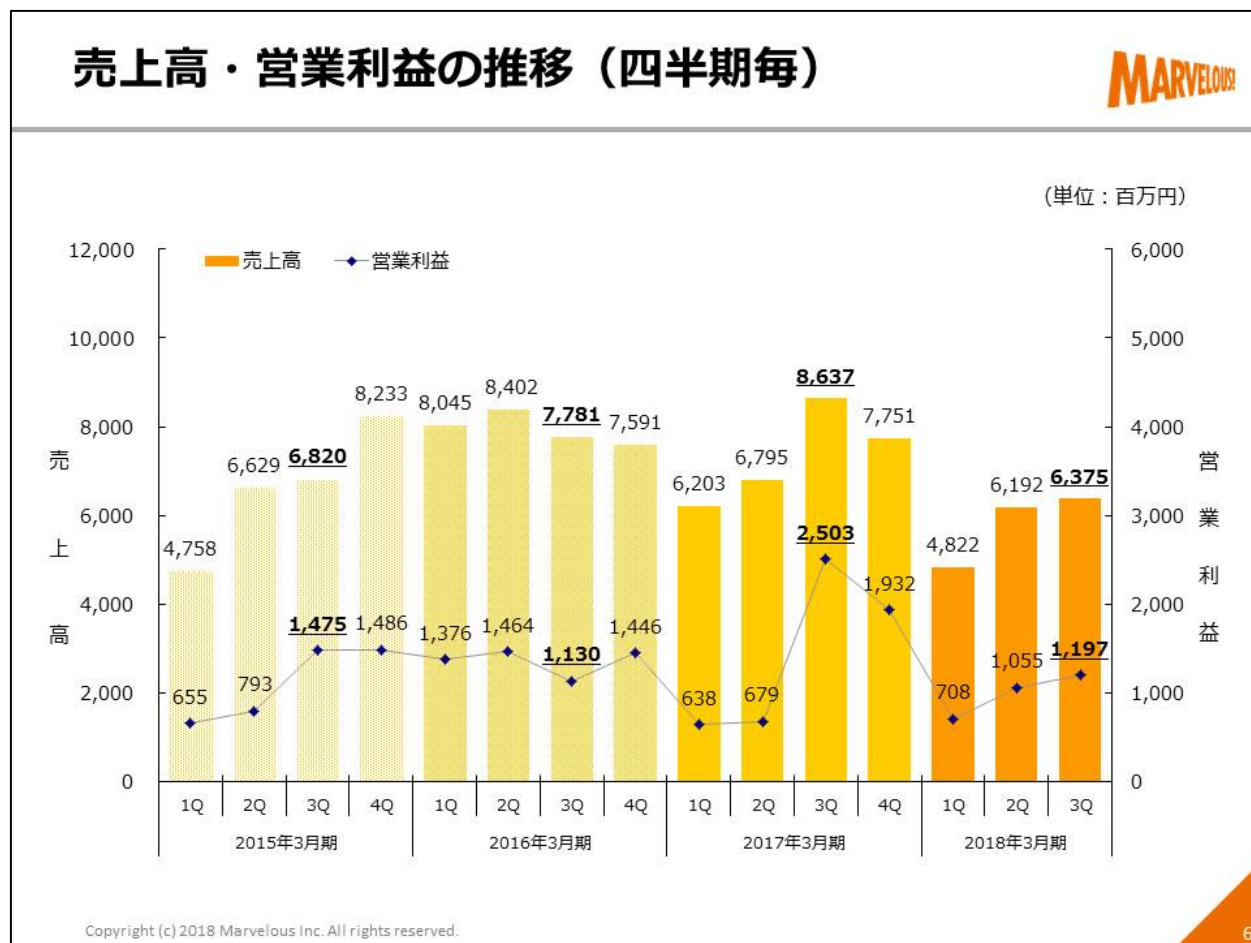
コンシューマ事業は、売上高が前年同期比 89.9%の 58 億 3,900 万円、セグメント利益は、同 134.4%の 16 億 800 万円となりました。

前期はヒット作による売上貢献があり、その反動から、売上高は減少いたしました。一方で、主カシリーズ各種の販売が好調に推移し、アミューズメントでも、定番シリーズ、新規プライズビジネスが好調となり、増益となりました。

音楽映像事業は、売上高が前年同期比 115.4%の 42 億 8,000 万円、セグメント利益は、同 142.3%の 14 億 900 万円となりました。

ステージ公演では、「刀剣乱舞」、「あんさんぶるスターズ！」の2大ヒットシリーズが特に盛況となりました。また、アニメ、ステージともに二次利用収入も好調に推移し、増収増益となりました。

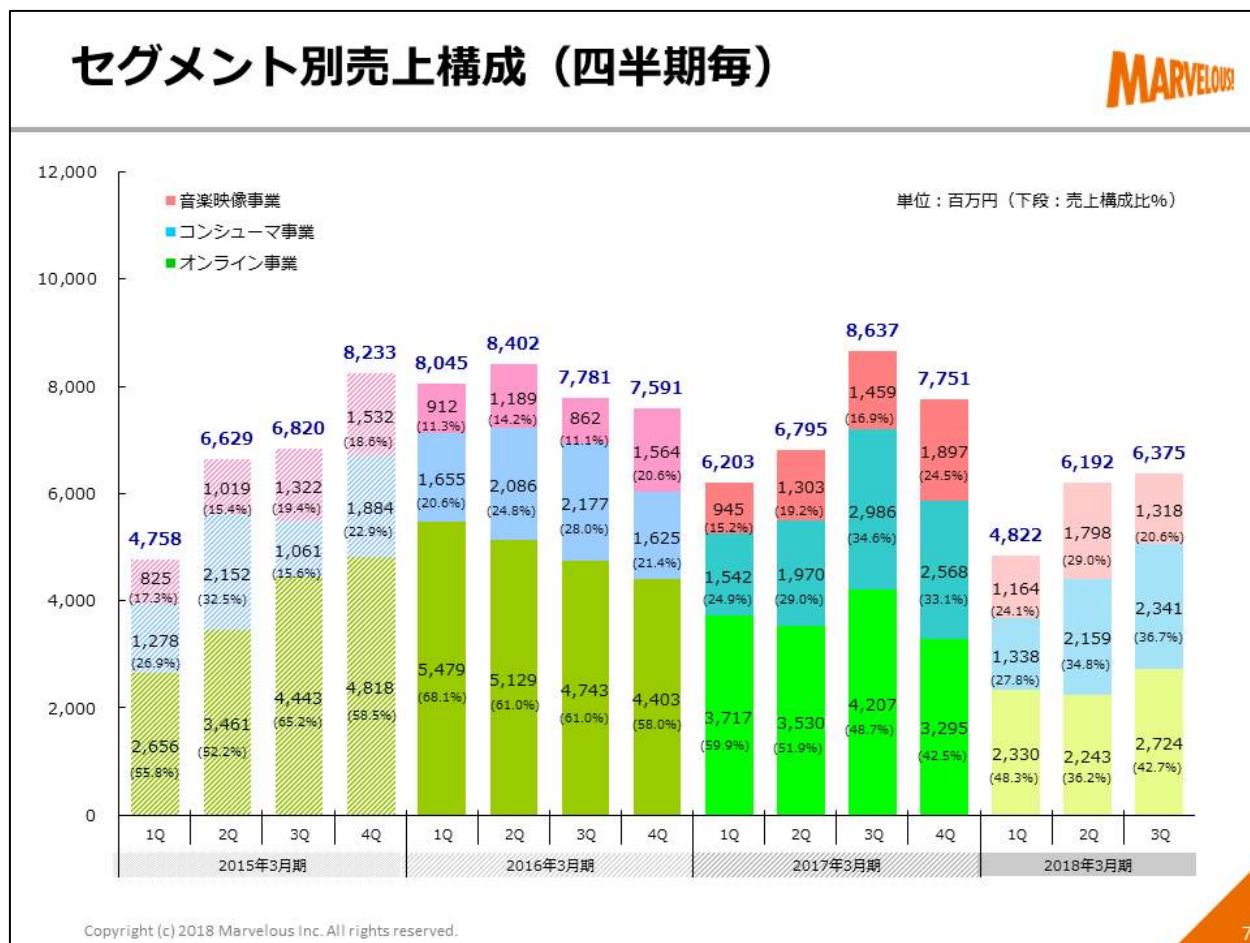
資料_P.6_売上高・営業利益の推移(四半期毎グラフ)



こちらは、四半期ごとの、売上高・営業利益の推移です。

前四半期と比べ、増収増益にはなったものの、前年同期比では、厳しい結果となりました。

資料_P.7_セグメント別売上構成(四半期毎グラフ)



続いてこちらは、四半期ごとの、セグメント別の売上構成となっております。

こちら、前四半期比ではオンライン事業が反転回復したものの、前年比では低調な推移となっております。

資料_P.8_貸借対照表(要約)

貸借対照表（要約）			
(単位：百万円)			
	2017年3月末	2017年12月末	増減額
流動資産 計	19,285	19,699	414
固定資産 計	4,943	4,257	▲ 686
資産合計	24,228	23,956	▲ 272
流動負債 計	7,626	6,894	▲ 731
固定負債 計	62	50	▲ 12
負債合計	7,688	6,944	▲ 743
純資産合計	16,539	17,011	471

Copyright (c) 2018 Marvelous Inc. All rights reserved.

8

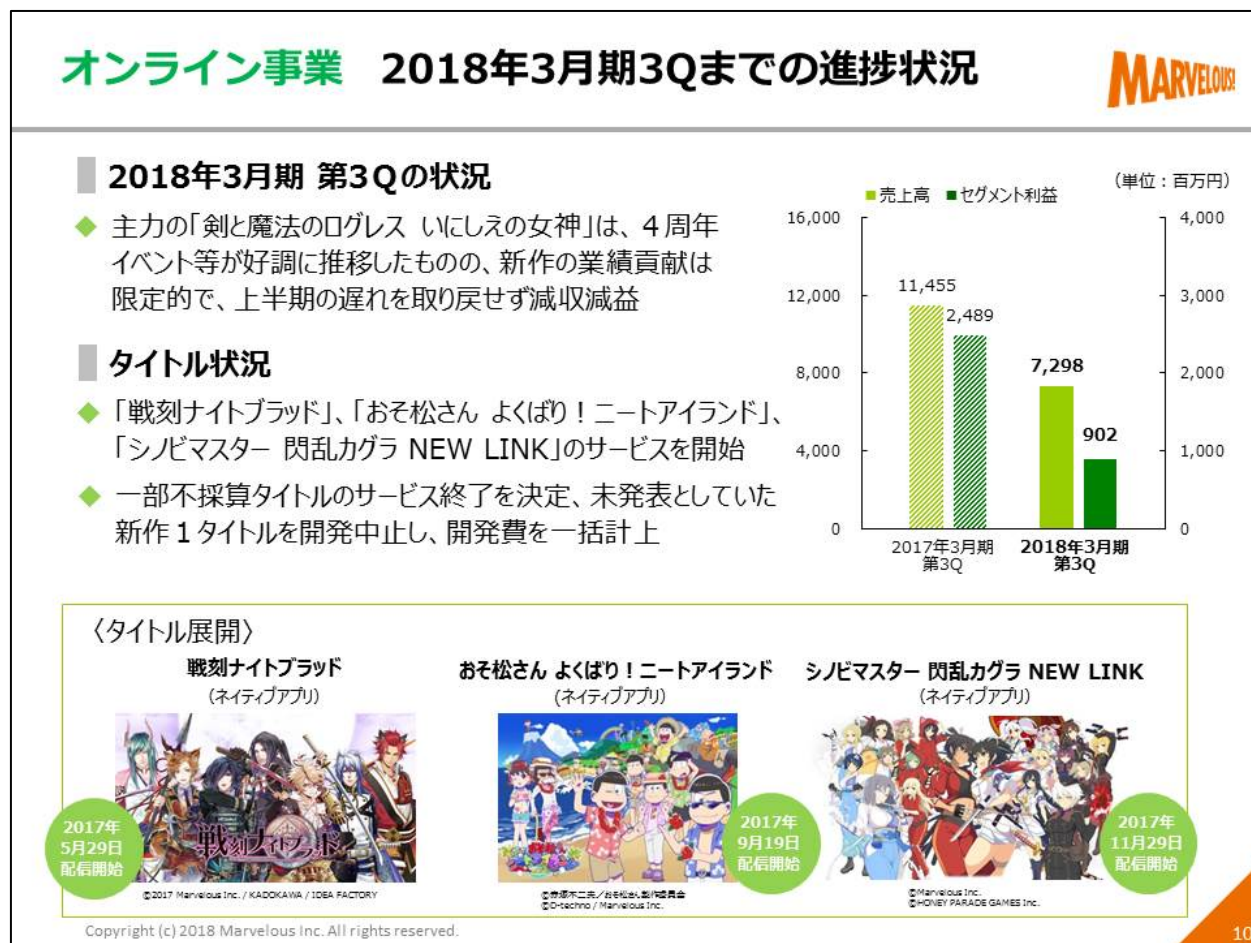
続いてこちらは、貸借対照表の要約になります。

資産の部では、主にコンシューマゲームソフトの開発進捗により流動資産の仕掛品が増加し、アミューズメント機器の償却により固定資産が減少しました。

負債の部では、主に未払法人税の支払いにより、流動負債が減少いたしました。

それでは続いて、セグメント別の状況についてご説明させていただきます。

資料 P.10_オンライン事業 3Q 進捗



まずは、オンライン事業です。

主力の「剣と魔法のログレス いにしえの女神」は、4周年イベント等が好調に推移したものの、新作の業績貢献はリリース遅延等の影響で限定的となり、上半期の遅れを取り戻せず、減収減益となりました。

新作につきましては、「戦刻ナイトブラッド」を昨年5月より、「おそ松さん よくばり！ ニートアイランド」を9月より、「シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK」を11月29日より、サービス開始いたしました。

閃乱カグラシリーズ初のゲームアプリ「シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK」につきましては、サービス開始直後、一時的に不具合が発生したものの、アプリストアの売上ランキングで上位に入る等、好調なスタートを切っております。

一方で、第2四半期までにサービス終了を決定しておりました一部不採算タイトルに加えて、これまで未発表としておりました当期新作1タイトルにつきましても、開発中止を決定し、開発費を一括計上いたしました。

オンライン事業 2018年3月期 4Q以降の取り組み

- ◆ 新たな柱の創出に向けて、新規タイトルの開発及びリリース済みタイトルの育成に注力

ORDINAL STRATA -オーディナル ストラータ
(ネイティブアプリ)



大型共同
プロジェクト **MARVELOUS** × **FujiGames**
メインテマ：Toshi(X JAPAN)氏

1月9日
配信開始

千銃士
(ネイティブアプリ)



LINEとの
共同事業 **MARVELOUS** × **LINE**

今冬
配信予定

Copyright (c) 2018 Marvelous Inc. All rights reserved.

11

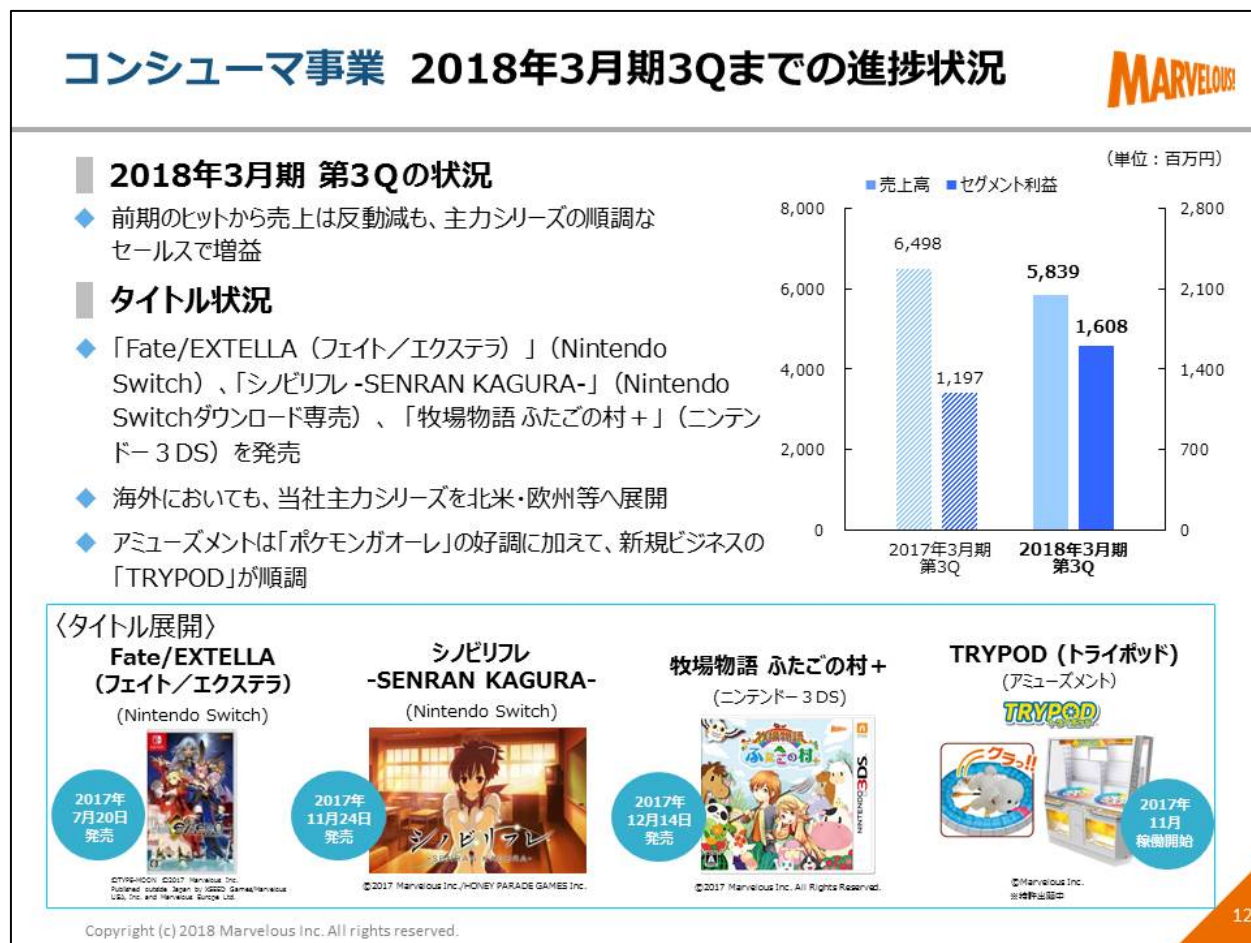
続いて、オンライン事業の今後の取り組みです。

フジゲームス様との共同プロジェクトとして展開するゲームアプリ「ORDINAL STRATA -オーディナル ストラータ」は1月9日より、サービスを開始いたしました。

当初は、夏にサービスを開始する予定でしたので、かなり遅れてのスタートとなりましたが、リリース後は、好調な立ち上がりとなっており、人気拡大に向けて引き続き注力してまいります。

また、今期リリース予定のタイトルといたしましては、LINE様との共同事業となる「千銃士」のゲームアプリをこの冬にリリースし、これを契機にクロスメディア展開を進めていく予定です。

こちらの「千銃士」も含め、今期の新作タイトルを新たな柱とすべく、各タイトルの育成、運営強化に努めてまいります。



続いて、コンシューマ事業の状況について、ご説明させていただきます。

前期においては「Fate/EXTELLA(フェイト/エクステラ)」(PlayStation4)のヒットによる売上貢献がありその反動で減収となりましたが、国内外で主力シリーズ各種の新作及び旧作リピーターやダウンロードコンテンツ販売等が好調に推移し、増益となりました。

国内新作ゲームソフトでは、「Fate/EXTELLA(フェイト/エクステラ)」のNintendo Switch 移植版を7月20日に、「シノビリフレ -SENTRAN KAGURA-」をNintendo Switch 向けに、ダウンロード専売で11月24日に、「牧場物語 ふたごの村+」をニンテンドー3DS 向けに12月14日に発売し、それぞれ好調なセールスとなりました。

また、海外におきましては、「Fate/EXTELLA(フェイト/エクステラ)」(Nintendo Switch/Windows PC)や「閃乱カグラ PEACH BEACH SPLASH」(PlayStation4)等、当社主力シリーズの北米・欧州等への展開を行い、好調に推移いたしました。

アミューズメントにおきましては、前期より好評稼働中の「ポケモンガオーレ」が引き続き好調に推移していることに加えて、11月より稼働開始した新型プライズマシン「TRYPOD(トライポッド)」が好評をいただき、順調に販売台数を伸ばしており、国内シェアの大半がクレーンゲームマシンで占められているプライズゲーム業界では、かなりのヒットとなり注目を集めております。

コンシューマ事業 2018年3月期 4Q以降の取り組み

- ◆ 2月の新作及びリリース済みタイトルの販売拡大に注力

閃乱カグラ Burst Re:Newal (PS4)



2018年
2月22日
発売予定

©2018 Marvelous Inc./HONEY PARADE GAMES Inc.

Copyright (c) 2018 Marvelous Inc. All rights reserved.

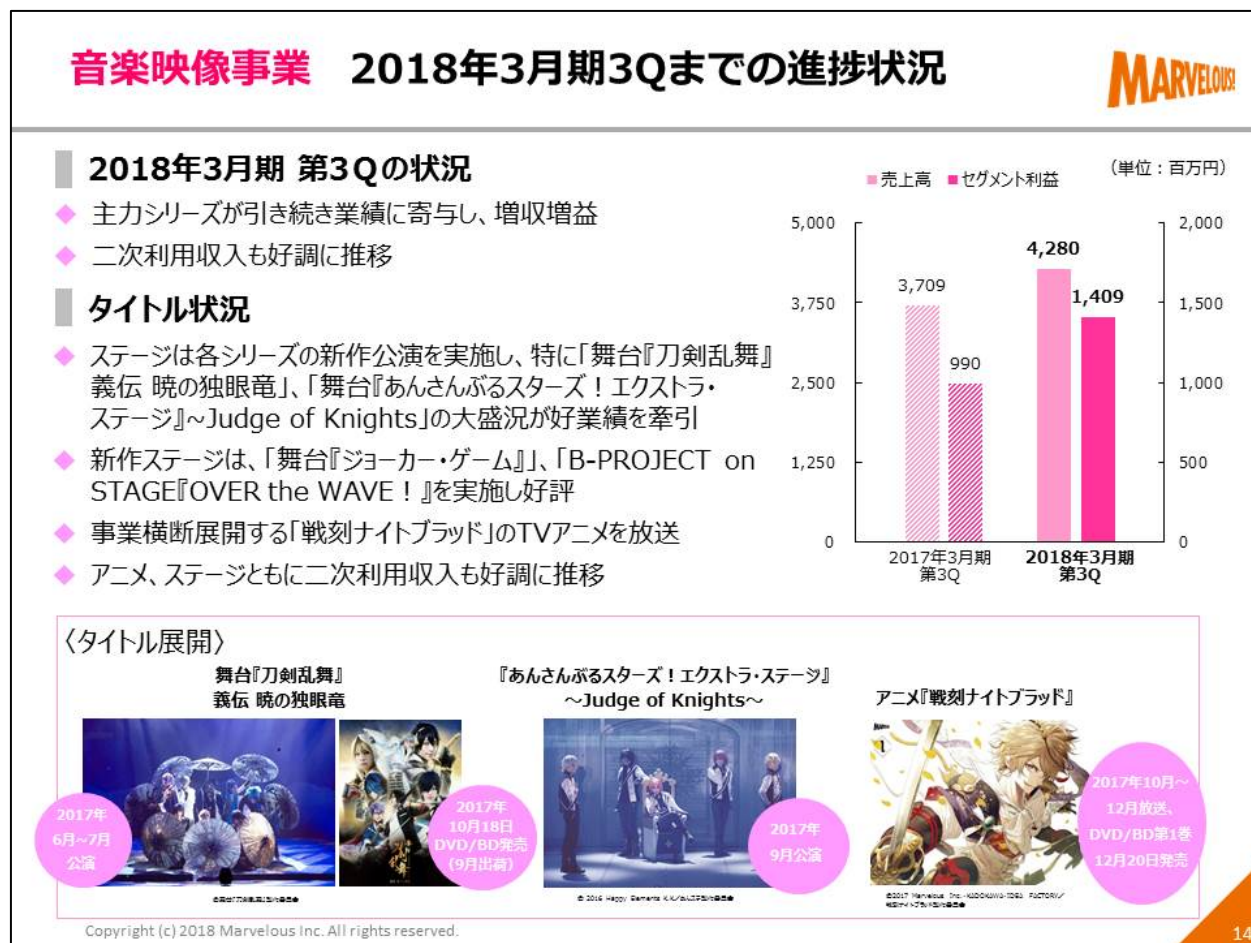
13

続いて、コンシューマ事業の今後の取り組みについて、ご説明させていただきます。

当期においても、Nintendo Switch 向けの「シノビリフレ -SENTRAN KAGURA-」、初のゲームアプリ「シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK」のリリースと話題を欠かない「閃乱カグラ」シリーズですが、2月22日には、PlayStation4 向けに「閃乱カグラ Burst Re:Newal」の発売を予定しております。

また、こちらは、来期以降となりますが、Nintendo Switch 向けの新作「PEACH BALL 閃乱カグラ」の開発も進めております。

また、海外におきましても、現時点では未発表ではありますが、今期中にリリース予定のタイトルもございます。これら、国内外の新作及び、リリース済みタイトルの販売拡大に注力してまいります。



続いて、音楽映像事業の状況についてご説明させていただきます。

こちらは、前期よりシリーズ展開させていただいております「刀剣乱舞」、「あんさんぶるスターズ！オン・ステージ」が、引き続き盛況で、好業績を牽引しております。また、各種二次利用収入も好調に推移し、増収増益となりました。

ステージ制作部門におきましては、「ミュージカル『テニスの王子様』」、「ミュージカル『薄桜鬼』」、「舞台『K』」、「舞台『弱虫ペダル』」といった各シリーズの新作公演を実施し、中でも、昨年6月から7月に公演した「舞台『刀剣乱舞』義伝 暁の独眼竜」、9月に公演した「『あんさんぶるスターズ！エクストラ・ステージ』～Judge of Knights～」が大盛況となりました。

また、当期の新作としましては、5月に「舞台『ジョーカー・ゲーム』」を、7月から8月に「B-PROJECT on STAGE『OVER the WAVE!』」の公演を実施し、好評を博しました。

音楽映像制作部門におきましては、事業横断展開する『戦刻ナイトブラッド』のTVアニメを昨年10月から12月まで放送し、ブルーレイ・DVD第1巻を12月20日に発売いたしました。

また、アニメのライブラリ作品の配信・番組販売・商品化や、ステージ作品のパッケージ販売、ライブビューイングといった二次利用収入が引き続き好調に推移いたしました。

音楽映像事業 2018年3月期 4Q以降の取り組み

◆ アニメ、ステージともに強力なIP展開を促進

アニメ 続『刀剣乱舞-花丸-』  TVアニメ2期 2018年1月 放送開始 ©2018 Nippon Ichi MM GAMES / 続『刀剣乱舞-花丸-』製作委員会	アニメ 『Fate/EXTRA Last Encore』  TVアニメ 2018年1月 放送開始 ©TYPE-MOON/Marvelous, Aniplex, Notes, SHARP	アニメ 『HUGっと！プリキュア』  TVアニメ 2018年2月 放送開始予定 ©ABC-A・東映アニメーション	舞台『刀剣乱舞』 ジョ伝 三つら星刀語り  2017年 12月公演 ©舞台『刀剣乱舞』製作委員会
舞台『モブサイコ100』  2018年 1月公演 ©ONE-PIECE / 舞台『モブサイコ100』製作委員会	『あんさんぶるスターズ！ オン・ステージ』 ～To the shining future～  2018年 1月～2月公演 ©2018 Happy Elements K.K. / あんさんぶる製作委員会	B-PROJECT on STAGE 『OVER the WAVE!』REMIX  2018年 2月～3月 公演予定 ©MAGES. / STAGE B-PROJECT	舞台『弱虫ペダル』新インターハイ篇 ザ・キングダム ～箱根学園王者復讐～  2018年 3月公演予定 企画協力：（株）ハヤシタテノミヤノ / 監修：（株）ハヤシタテノミヤノ 企画協力：（株）ハヤシタテノミヤノ / 監修：（株）ハヤシタテノミヤノ

Copyright (c) 2018 Marvelous Inc. All rights reserved.

続いて、音楽映像事業の今後の取り組みについてご説明させていただきます。

アニメにつきましては、『刀剣乱舞-花丸-』の第2期を1月7日より、『Fate/EXTRA Last Encore』を1月27日より放送開始いたしました。

15周年を迎えるプリキュアシリーズは、2月4日よりTVアニメの新シリーズ『HUGっと！プリキュア』が放送予定となっております。

また、10月より公開しております劇場版も好評をいただいておりますが、3月にも劇場版の最新作、『映画プリキュアスーパースターズ！』の公開を控えております。

ステージ部門におきましては、「舞台『刀剣乱舞』ジョ伝 三つら星刀語り」の公演を12月15日から29日まで行い、おかげさまで今回も大盛況となりました。

また、新作舞台として、アニメ化や実写ドラマ化といったメディアミックス展開でも注目の大人気ウェブコミックを原作とした「舞台『モブサイコ100』」を1月6日から14日まで公演を行い、回を重ねるごとに徐々にリピーターのお客が増え、最終日は立ち見が出るほどとなりました。

また、「あんさんぶるスターズ！」の新作公演を1月19日から2月5日まで公演中で、引き続き盛況となっております。

さらに、昨年8月に公演を行った「B-PROJECT on STAGE『OVER the WAVE!』」の再演を2月から3月にかけて、弱虫ペダルの最新作「舞台『弱虫ペダル』新インターハイ篇～箱根学園王者復格(ザ・キングダム)～」の公演を、3月に予定しております。

この他にも、来期に向けましては、「ミュージカル『薄桜鬼』」や「ミュージカル『青春-AOHARU-鉄道』」、「舞台『ジョーカー・ゲーム』」といった人気作の続編公演を多数準備しております。

以上が、各セグメントの概況となります。

2018年3月期 業績予想修正

(単位：百万円)

	修正前	修正後	増減額
売上高	30,000	25,000	▲ 5,000
営業利益	6,000	5,000	▲ 1,000
経常利益	6,000	5,000	▲ 1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,180	3,300	▲ 880

業績修正の理由

- ◆ オンライン事業における新作のリリース遅延、一部タイトルのリリース後の不振、不採算タイトルのサービス終了及び開発中タイトルの開発中止
- ◆ オンライン事業における既存の主力タイトルの不振

※なお、配当につきましては、当初の予想から変更はございません。

Copyright (c) 2018 Marvelous Inc. All rights reserved.

17

最後に、通期の業績予想について、ご説明させていただきます。

冒頭にも申し上げましたとおり、今期の業績動向等を踏まえ、当初の業績予想を下方修正させていただきました。誠に申し訳ございません。

業績予想の修正の主な要因といたしましては、オンライン事業におきまして、当期リリースを予定していた新作タイトルのリリース遅延、一部タイトルにおけるリリース後の低調な推移やサービス終了、開発中タイトルの開発中止等がございます。加えて、既存の主力タイトル、「剣と魔法のログレス いにしえの女神」につきましては、11月から12月にかけて行った4周年イベントは好調に推移したものの、上半期までの不振を補うには至らず、当初の業績予想を下回る見通しとなりました。

また、今回の修正の要因となったオンライン事業の今後につきまして、少し触れさせていただきますと、足下では、年末年始にかけてリリースした新作2タイトル「シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK」と「ORDINAL STRATA -オーディナル ストラータ」が好調なスタートを切ることができました。

これらをしっかり育てていくとともに、今後リリースを控えている「千銃士」につきましても、同様に注力し、来期につなげていきたいと考えております。

なお、最後となりましたが、配当につきましては、当初予想から変更はございません。

以上をもちまして、決算説明を終了させていただきます。
最後までご視聴いただきまして、誠にありがとうございました。

以上